

## わたしの好きな時間についてスピーチでつたえよう

日時 令和3年9月30日(木) 公開授業①  
児童 男子9名 女子10名 計19名  
指導者 鹿川 幸子

### 1 単元の構想

#### <児童の実態>

- ・「始め」「中」「終わり」の組み立てに分けて話すことを学習してきている。
- ・相手に伝わるように声の大きさ、読む速さに気を付けて話す学習をくり返し行ってきている。
- ・事柄の順序に沿って文章を書くことができる。

#### <単元について>

##### ◎「話したいな、わたしの好きな時間」(東京書籍 新しい国語 三下)

本単元は、感じたことや考えたことについて「話す」系統の単元として位置付けられている。身近な話題について、相手に伝わるような話し方で「始め」「中」「終わり」の組み立てに分けてスピーチをすることで、話し手にとっては主体的に相手に伝えようとする力、聞き手にとっては相手と自分の考えを比べながら聞く力を養うのに適した教材であると言える。本単元の学習を通して、自分の伝えたいことや気持ちを伝えるために必要な事柄を選び、話の中心が相手に伝わるように話す力を身に付けることを目指す。

#### 付けたい力

話の中心がたつたわるように話す力

#### 単元に位置付ける言語活動

自分の好きな時間について、学級の友達に伝えるスピーチを行う。

### 2 研究の柱にかかわって

#### 研究の柱1 ①ゴールの見える見通し

子どもたちが本単元の学習に関心をもち、主体的に取り組むことができるように、単元の導入で実際にスピーチをしている様子の動画を見せ、具体的なスピーチのイメージをもてるようにする。また、気持ちを表す言葉の語彙を豊かにし、進んで使おうとする態度を養うために、気持ちを表す言葉の表現方法に差がある動画を用意して、子どもたちが課題に気付き、目的意識をもって学習に取り組むことができるようにする。

#### 研究の柱2 ①思考の共有・可視化を図った学習活動

本単元では、自分の好きな時間について、学級の友達に伝えるスピーチを行う。スピーチを行うために今回はスピーチ原稿を用意することとし、原稿を書くためにメモを活用する。メモには①好きな時間②好きな理由③どんなときに好きだと思ったか④どんな気持ちだったか⑤どの順番で話すかの5つを書く。このメモを見合いながら3人グループでの対話・交流で活用できるようにしていきたい。また、④の気持ちを表す言葉について、気持ちを表す言葉を教室内に掲示したり、友達と話し合ったりして語句の量を増やしていけるようにする。

なお、スピーチを行う際、できるだけ相手を見て話すことを目指す。全員がスピーチ原稿を手元に置いて話すこととするが、スピーチ原稿は読むためのものではなく、相手に伝えるためのツールという意識をもたせたい。ただし、話すことに苦手意識をもっている子どもには、少なくとも話の中心については相手を見て話すことにして抵抗感を和らげたいと考えている。

### 3 単元の学習計画

#### (1) 単元の指導目標

- ①相手を見て話したり聞いたりすることができる。 [知識及び技能] (1) イ
- ②様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話の中で使うことができる。 [知識及び技能] (1) オ
- ③目的を意識して，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を比較したり分類したりして，伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 [思考力，判断力，表現力等] A (1) ア
- ④相手に伝わるように，理由や事例などを挙げながら，話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 [思考力，判断力，表現力等] A (1) イ
- ⑤言葉がもつよさに気付くとともに，幅広く読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力，人間性等」

#### (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①相手を見て話したり聞いたりしている。((1) イ) ②様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話の中で使っている。((1) オ)	①「話すこと・聞くこと」において，目的を意識して，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を比較したり分類したりして，伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A (1) ア) ②「話すこと・聞くこと」において，相手に伝わるように，理由や事例などを挙げながら，話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A (1) イ)	①進んで，気持ちを表す語句の量を増し，学習課題に沿って，自分の好きな時間について話そうとしている。

#### (3) 単元の指導と評価の計画 (6時間)

時	主な学習活動	指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1	○学習の見通しを立てる。 ・スピーチの動画を見て，感想を言ったり質問したりする。 ・単元で身に付けたい「言葉の力」と学習課題を確かめて，学習の見通しを立てる。 ・学習計画を子どもたちと話し合いながら立て，自分の好きな時間についてスピーチするというゴールを設定する。	・スピーチの良い例と課題のある例を見せ，学習の目的意識をもてるようにする。 ・自分の好きな時間を想起できるように楽しい時間，ほっとする時間，夢中になって活動する時間などの具体的な言葉を示す。	

2	<p>○スピーチの話題を決めて、話す材料を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P27 を読み、スピーチで話す材料をメモに整理することを確かめる。</li> </ul> <p>【メモに書くこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①好きな時間</li> <li>②その時間が好きな理由</li> <li>③どんなときに好きだと思ったか</li> <li>④その時の気持ち</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P27 「田中さんのメモ」と照らし合わせながら【メモに書くこと】を抑える。</li> </ul>	<p>【思・判・表①】</p> <p>身近なところからスピーチの話題を決めて、自分の好きな時間とその理由や気持ちについて考え、話す材料を集めているか確認する。(ワークシート)</p>
3	<p>○話の中心と組み立てを考え、スピーチ原稿を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P27, 28 を読み、話の中心の決め方と文章の組み立て方について考える。</li> <li>自分が書いた好きな理由の中から、話の中心として伝えたいことを選ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「田中さんのメモ」と「田中さんのスピーチ」を拡大印刷し、メモがスピーチ原稿にどのように生かされているかを確かめる。</li> <li>話の中心として伝えたいことを決める際には、好きな理由の中で一番伝えたいことを選ぶように助言する。</li> </ul>	<p>【思・判・表②】</p> <p>話の中心の決め、メモを「始め」「中」「終わり」に分けているか確認する。(発言、ワークシート)</p>
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを相手に伝えるために、気持ちを表す言葉を何種類か考える。</li> <li>メモを友達と見せ合い、話し合う。</li> <li>メモを基にスピーチ原稿を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 (P. 29, 152, 153) を基に、気持ちを表す言葉を掲示しておく。</li> <li>メモを友達に見せ、話し合う際は、好きな時間とその理由が伝わるか、気持ちを表す言葉は他にどんなものが考えられるかを話すように指示する。</li> <li>「始め」「中」「終わり」の組み立てを確かめ、「始め」や「終わり」で話の中心をはっきり伝えることを指示する。</li> </ul>	<p>【知・技②】</p> <p>メモの中の気持ちを表す言葉に着目し、相手に伝えるための表現について考えているか確認する。(発言、ワークシート)</p> <p>【思・判・表②】</p> <p>メモを基にスピーチ原稿を「始め」「中」「終わり」に分けているか確認する。(ワークシート)</p>
5	<p>○スピーチの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までに学習したスピーチの話し方について確かめる。</li> <li>グループで、気持ちを表す言葉や話し方が適当か確かめながらスピーチの練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチの話し方を掲示し、子どもたちが手がかりにできるようにする。</li> <li>グループで練習する際には、友達の頑張り認めながら、よりよいスピーチになるように助言することを確かめる。</li> </ul>	<p>【主体的①】</p> <p>様々な種類の気持ちを表す言葉を使いながら、進んで自分の好きな時間について伝えようとしているか確認する。(観察)</p>

6	<p>○自分の好きな時間についてのスピーチをし、感想を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の中心が伝わるように話すために大切なことをまとめる。</li> <li>・学習したことをどのように生かしていきたいかを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの話し方、聞き方を確かめる。</li> <li>・学習したことを子どもたちと一緒に振り返り、スピーチができたことを称賛する。</li> <li>・学んだことを今後の学習や生活に生かせるように助言する。</li> </ul>	<p><b>【知・技①】</b></p> <p>聞き手に視線を向けながら話したり、話し手の伝えたいことを自分と比べながら聞いたりしているか確認する。(発言, ワークシート)</p>
---	--	---	--

#### 4 本時の指導 (4時間目/全6時間)

##### (1) 目標

伝えたいことが聞く人に伝わるように、気持ちを表す言葉に気を付けながらスピーチ原稿を「始め」「中」「終わり」に分けることができる。

##### (2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (・) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
つ か む 5 分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>気持ちを表す言葉や文章の組み立てを考えてスピーチ原稿を書こう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの掲示や自分の書いたメモを見て、本時の課題を確認する。</li> </ul>
か ん が え る ・ あ ら わ す 35 分	<p>3 話の中心を伝えるための組み立てを確かめ、気持ちを表す言葉を考える。</p> <p>(1) メモの中の気持ちを表す言葉に印を付け、他の言葉で言い換えられないかを考える。</p> <p>(2) 3人グループで互いのメモを読み合い、観点に沿って原稿が書けるように話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを表す言葉として、同じ言葉を繰り返していないか、他に相手にもっと伝わる言葉がないかを考えるように声を掛ける。(参考:P29「言葉」、P152, 153「言葉の広場」)</li> <li>・話し合う観点を掲示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>① 「始め」「中」「終わり」に分けられているか。</p> <p>② 好きな時間、理由、気持ちが書かれているか。</p> <p>③ 気持ちを表す言葉が他に考えられるか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【知・技②】</b></p> <p>メモの中の気持ちを表す言葉に着目し、相手に伝えるための表現について考えているか確かめる。(発言, ワークシート)</p> </div>

	<p>4 メモを基に、スピーチ原稿を書く。</p> <p>5 スピーチ原稿を書いたところまで読み返し、観点に沿って見直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き進めることが難しい子どもには、教科書のスピーチ原稿を参考にするように促したり、教師と一緒に考えたりして文章にしていく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【思・判・表②】</b>        メモを基にスピーチ原稿を「始め」「中」「終わり」に分けているか確認する。        (ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>「始め」や「終わり」で話の中心をはっきり伝えているか、誤字・脱字がないか、観点に沿って書かれているかを確認するように促す。</li> </ul>
<p>ふりかえる5分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。  <b>【振り返りの観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>できたこと</li> <li>難しかったこと</li> <li>次の時間にかんがりたいこと</li> </ul> <p>※これらの中から2つ以上選んで書く。</p> <p>7 次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題に即して振り返るように声を掛ける。</li> <li>次時は、スピーチ原稿を完成させ、スピーチ練習をすることを伝え、次時への意欲を高める。</li> </ul>

**(3) 評価**

おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
<p>伝えたいことが聞く人に伝わるように、気持ちを表す言葉を吟味し、メモを基にスピーチ原稿を「始め」「中」「終わり」に分けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちを表す言葉を掲示し、考える手がかりにする。</li> <li>スピーチ原稿を「始め」「中」「終わり」に分けるのが難しい子どもには、教科書のスピーチ原稿を参考にするように促したり、書きたいことを聞き出して一緒に考えたりする。</li> </ul>